

例　言

1. 本書は金沢大学構内において 2002 年 3 月 31 日までに行われた埋蔵文化財の調査および活動成果をまとめたものである。
2. 遺跡略号は、地区ごとにアルファベット 2 ~ 3 文字と発掘年を組み合わせて以下のように表記することにした。金沢大学宝町遺跡医学部附属病院地区地下油槽地点 (KTB0006)、金沢大学宝町遺跡医学部附属病院地区精神科病棟 II 地点 (KTB0007)、金沢大学東兼六遺跡 (KEK00)、金沢大学宝町遺跡医学部保健学科地区校舎 III 地点 (KTH0103)、金沢大学宝町遺跡医学部受水槽地点 (KTG0108)、金沢大学宝町遺跡医学部附属病院地区中央設備室 II 地点 (KTB0109)。
3. 各調査区・調査地点の範囲は下記のとおりである。

金沢大学宝町遺跡医学部附属病院地区 北緯 36° 33' 14" ~ 21" 東経 136° 40' 34" ~ 40"、金沢大学宝町遺跡医学部受水槽地点 北緯 36° 33' 7" 東経 136° 40' 41"、金沢大学宝町遺跡医学部保健学科地区 北緯 36° 33' 4" ~ 8" 東経 136° 40' 49" ~ 53"、金沢大学東兼六遺跡 北緯 36° 33' 34" ~ 35" 東経 136° 40' 5" ~ 7"
4. 本文中で用いる方位は、特に断らない限りすべて磁北を用いている。
5. 本文中で用いる土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄 1997『新版標準土色帖 19 版』によった。
6. 本書に掲載した遺物やその他の出土遺物および調査にかかる記録類は、すべて金沢大学埋蔵文化財調査センターにて保管している。